

43. 形容詞の比較変化 (2)

1. 最上級の用法

最上級は「もっとも…な」という意味で、比較するものの中でたったひとつしかないということを示す強い限定作用があるため、最上級には定冠詞や所有代名詞などの冠詞類をつけることが普通です。

a. 最上級の述語的用法

Der Mann ist der reichste in der Welt.

The man is the richest in the world.

英語では「世界一金持ちだ」という場合は *richest* という最上級に定冠詞の *the* をつけなければいいのですが、ドイツ語では名詞に性があるため、最上級には想定される名詞の性に従った定冠詞をつけなくてはなりません。この例では主語の *der Mann* が最上級のあとにあるものとして男性1格の定冠詞をつけ、さらに最上級には付加語語尾 *-e* をつけたかたちの *der reichste* となっています。このように最上級を述語形容詞として用いる場合はこの点が英語にくらべて非常に面倒なため、日常のドイツ語では am + 最上級 + -en というかたちを使います。これは性数に関係ないために大変便利です。

Der Mann ist am reichsten in der Welt. 「その男は世界一金持ちだ」

Die erste Liebe ist am schönsten von allen.

「初恋はどんな恋より美しい」

最上級の述語的用法のあとにおかれる比較の対象をあらわすものには前置詞 *in* や *von* などが用いられます。

b. 最上級の付加語的用法

定冠詞や冠詞類をつけたあとに、形容詞の付加語的用法の決まりどおりその後の名詞の性数格に従った格語尾をつけます。

Wo ist die nächste Post?

「一番近い郵便局はどこにありますか？」

Dort sitzt mein ältester Bruder.

「そこに僕の一番上の兄が座っている」

Berlin ist die größte Stadt Deutschlands.

「ベルリンはドイツ最大の都市だ」

最上級の付加語的用法のあとにおかれる比較の対象をあらわすものには前置詞句や2格の名詞が用いられます。

c. 最上級の副詞的用法

形容詞の最上級も副詞として用いることができます。この場合はかならず am + 最上級 + -en というかたちを用います。

Der Wagen fährt am schnellsten.

「その車が一番速く走る」

Er trinkt immer am meisten.

「彼はいつも一番たくさん飲む」

d. 最上級の名詞的用法

形容詞の最上級も大文字で書きはじめれば名詞として用いることができます。

Der Älteste von uns wurde Präsident. 「僕らのうちで一番年上が社長になった」

Ich gebe Ihnen das Beste.

「私はあなたに一番よいものをあげましょう」

2. 比較級と最上級の絶対的用法

一般に比較級と最上級は「ひと」あるいは「もの」を他と比べる時に用いるため、厳密に言えば相対的比較級あるいは相対的最上級といいますが、ほかに具体的な比べるものがない比較級や最上級もあり、このようなものを絶対的比較級あるいは絶対的最上級といいます。

a. 絶対的比較級

絶対的比較級とは比較する具体的な対象がなく「かなり…だ」「比較的…だ」ということをあらわす比較級です。この絶対的比較級は「その形容詞の反対概念との比較」をしている、と考えればわかりやすいでしょう。

Ein älterer Mann kam zu mir. 「一人の中年男が私のところへやって来た」

この文の主語を ein alter Mann とすれば「一人の老人」という意味になりますが、絶対的比較級を用いて ein älterer Mann とすれば alt の反対概念、すなわち jung「若い」という状態との比較となり、したがって「一人の、若いというよりは年をとった男」つまり「一人の中年男」という意味になるのです。

Sie ist die schönere Frau. 「彼女はまあまあきれいな女性だ」

Keio Gijuku Höhere Schule 「慶應義塾高等学校」

ドイツ語では Hochschule とは「大学」を意味するため、日本の3学年制の「高等学校」はこの絶対的比較級を用いなくては正確にあらわすことができません。

b. 絶対的最上級

絶対的比較級と同様ですが最上級ですから「きわめて…な」「非常に…な」という意味になります。またこの絶対的最上級が名詞の前で付加語としてつかわれる場合はしばしば無冠詞で用いられます。

Liebster Freund! Wie geht es dir? 「やあ、君！ 元気かい？」

Er kam zu uns in größter Eile. 「彼は大きくて僕らのところへやって来た」

3. 副詞の比較級と最上級

ほとんどの形容詞はそのまま副詞としても用いられますから、比較級や最上級のかたちでも副詞として機能します。しかしもともと副詞であっても比較級や最上級をもっているものもあり、代表的なものとして日常的によく使われる gern「好んで」という副詞の比較変化は知っておきましょう。ほんらい副詞には比較変化がないため、gern の比較級と最上級には形容詞の lieb「好ましい」「愛する」の比較級と最上級が用いられます。

原級	比較級	最上級
gern (lieb)	lieber	am liebsten
「好んで」	「より好んで」	「もっとも好んで」

Ich trinke gern Kaffee.	「私はコーヒーが好きだ」
Bier trinke ich lieber.	「ビールはもっと好きだ」
Aber am liebsten trinke ich Wein.	「でも一番好きなのはワインだ」